

## 久留米市文化財保存活用地域計画協議会（第4回） 会議録（HP用）

1. 開催日時：令和2年7月29日（水） 14：00～16：15
2. 会 場：えーるピア久留米
3. 参加委員：赤司善彦委員、吉田洋一委員、松岡高弘委員、永松義博委員、古賀正美委員、立石雅文委員、穴見英三委員、矢次恵美子委員、深山和義委員、松本良一委員、森山有希子委員、杉原敏之委員、入佐友一郎委員
4. 事務局：（久留米市市民文化部文化財保護課）水島課長、丸林課長補佐、白木課長補佐、塚本主査、神保、荻野、小川原  
（都市環境研究所）赤松、池田、宮島

### 5. 議 事

1. 開会のことば
2. 課長挨拶
3. 前回までの経過と指摘事項について

#### <事務局からの報告>

- ・第1回協議会から第3回協議会までの協議経過を確認。
- ・第3回協議会の書面での意見として、「保存と活用の好循環」「活用に配慮した保存」「保存に向けた活用」の意味が分かりにくいというものがあり、「保存と活用の好循環」は「保存と活用の調和」に変更した。「活用に配慮した保存」「保存に向けた活用」については、計画書中で丁寧な説明を加えたことを報告。

### 4. 協議

- (1) V章 歴史遺産の保存活用に関する方針 について

#### <事務局からの報告>

- ・地域計画の構成を再確認。

#### 1) 歴史遺産の保存と活用の調和を生み出す仕組づくりに関する方針

##### ●主体について

委員)「協働」と書いているが、誰と誰の協働なのか？

事務局)市と所有者、市民、市民団体との協働と、所有者、市民、市民団体相互の協働のどちらの意味もある。計画書の文章を修正し、わかりやすくなるよう反映する。

委員)指定文化財を含めての歴史遺産であり、指定文化財は行政が行うもの。歴史遺産を所有者、市民、市民団体が守っていて、それを行政が支えているという書き方では誤解を与えるのではないか。イメージしやすく図化できるとよい。

委員)それぞれの役割がわかりにくい。それぞれの文章に主語がないため、主語があるとわかりやすい。

事務局)採用する。

#### 2) 活用に配慮した歴史遺産の保存に関する方針

##### ●「見つけ」について

委員)すでにならりのものがわかっているはず。新たな価値が見つかるというのは分かる。

事務局)ある程度、市内の歴史遺産の把握は行ってきているが、まだ本格的な悉皆調査は一度もできていない。われわれが把握していない歴史遺産もたくさんある。新たな価値を見つけるという意味も含んでいる。

委員) 価値を明らかにするのは、誰がどのようにするのかよくわからない。

事務局) 調査研究の推進は、市民や市民団体と協力して行う。大学や教育研究機関とも連携する。文化庁がやっているように「総がかり」のイメージをもっている。

委員) 今回の歴史遺産は、太宰府市であれば、市民遺産とっている。これは認定する仕組みがあるから分りやすい。この計画には仕組みが書いてない。

事務局) 対応する。

#### ●「活用に配慮」について

委員) 2は保存についての項目であり、通常は保存と活用は反するものという考え方があるが、市の説明では、保存と活用は相反するものではないということである。しかし、中身を見ると、活用に配慮した保存というのがわかりにくい。

事務局) 対応する。

### 3) 歴史遺産の保存に向けた活用に関する方針

#### ●社会教育・学校教育について

委員) 学校教育との連携が不十分という課題が書かれており、それを解決するための方針として、「できるだけやる」なのか、「絶対にやる」なのか、どの程度の連携のスタンスを考えているのか？

事務局) 次の世代を担うのが子供たちであるため、積極的に関わりをもっていきたい。

委員) 学校教育はみんなで体験するということが重要である。積極的に関わるといならば、教育課程に盛り込んで進める必要がある。授業に使用する資料を提供するなど。

委員) 学校のカリキュラムに提供できる資料として、やるならやるということ。場当たりに展示するというのではないということ。

#### ●観光振興について

委員) 取組の主体は誰か？市のなかで観光部局は内容を確認しているのか？

委員) 「来訪者が長時間滞在できる仕組づくりやソフト・ハード面の整備も計画的に進めていきます」という書き方はあまりにあいまいで、具体的なところがわからない。

委員) ユニークベニューとして文化財を活用するのはハードルが高い。その調整に協力してほしい。

事務局) 主体はわれわれという考え方。内容、文言の検討を行い、修正する。

#### ●情報発信について

委員) 拠点づくりとあり、久留米市文化芸術振興計画では、大きな柱として、久留米市美術館、シティプラザの活用を掲げているため、この計画でも整合を図ってもらえたらと思う。

#### ●マネジメントについて

委員) 地域計画を推進するにあたってのマネジメントが触れられていない。マネジメント組織をつくって計画を推進するということをしっかり書き込んだほうがよい。それがないと誰がやるのかわからないということになる。

委員) 主体は久留米市だと思うが、市と誰が行うのか。丁寧に書いた方がよい。

事務局) この協議会は、今後も毎年開催し、計画がきちんと進んでいることを確認、協議する場としていく。マネジメント組織として位置づけたいとは考えている。

委員) 評価とマネジメントとは違う。マネジメント組織はしっかり計画に書き込むことが必要。

#### ●サブタイトルについて

委員) 表題にサブタイトルがついているが、必要なのか？サブタイトルに引きずられてしまっているように感じる。

事務局) 検討する。

## (2) VI章 歴史遺産の保存活用に関する措置 について

<事務局からの報告>

- ・方針に対応する措置の設定と検討内容を説明。

### ●体制づくりについて

委員) 最終的に多様な専門職員の採用という形になればよいが、「業務に応じた庁内横断的プロジェクトチームの編成」とあるので、ここから取り組んだ方がよいと思う。

委員) 大事なのは3) 歴史遺産の保存活用体制の構築だと思う。

委員) 忙しい期間だけ、職員を建設課から文化財課に配置する事例もあるので、活用されるとよい。

委員) 計画をつくってから横断的に、協力要請すべきではない。関係部局の考えも盛り込むべきである。

事務局) 措置については、具体的に決まった段階で各部局には話をしにいく予定であり、すでに話を通している。

委員) 実効性のあるものにするためには庁内連携が大事で、庁内コンセンサスが必要。

### ●措置のめりはりについて

委員) 措置については、細かくかいてあるが、一般的にみてわかりにくい。リーディングプロジェクトをいくつか挙げ、そのなかで優先順位を定めて記載するなど、わかりやすく示してほしい。

事務局) VIII章において、措置をまとめる形で推進プログラムとして提示している。意見を踏まえて、進めていく。

委員) 段階的に取組んでいくということを書く方が良い。

事務局) すべきことを措置として洗い出して、それを実現するために何をしていくかを推進プログラムで決めていくという計画の構成にしたいと考えている。それ自体が今回の計画の久留米市としての特徴である。

委員) p78 を先に見るとわかりやすい。先にここを検討して、足りなければ措置に戻って追加してもよいのでは？

委員) 措置はもう少し、方針から具体的な未来予想図になっているとよい。

事務局) 検討して、次回には示す。

### ●保存と活用の主体について

委員) 社会教育・学校教育のところで「連携して推進します」とあるが、主体は文化財保護課になってしまう。本来はいろいろな方が関わっているはず。それを念頭に置いて、整理してほしい。

委員) p74 で、市民、市民団体と協働するとあるが、具体的に市民や市民団体がどうするかがわかりにくく、後ろに行くほどあいまいになっていると思うので、検討してほしい。

事務局) 検討する。

## (3) 保存活用の推進戦略と推進プログラム について

<事務局からの報告>

- ・措置を具体的に推進プログラムにしていくにあたっての考え方を示していることを説明。
- ・推進戦略として(仮称)筑後川遺産(関連文化財群)のフィルターを通して、推進プログラムを設定していくことを説明。
- ・(仮称)筑後川遺産(関連文化財群)を核にして、庁内連携を図って事業を推進していくイメージを持っていることを説明。加えて、行政、民間、市民との連携についても図化して示していく予定であることを説明。

### ●推進プログラムについて

委員) 関連文化財群と推進プログラムの関連性がわからない。この計画の成果は何になるのか?

委員) 最終的な推進プログラムを見ても面白くないし、説得力がないように思う。

委員) このような構成でよいのか?

委員) ストーリーを設定する自治体もある。ストーリーを以て何をやるかが問われると思う。そこを久留米市では、推進プログラムとしているということだと思う。

委員) 推進プログラムに今更、埋蔵文化財調査が入っていても面白くない。こういうことではないのではないか。

事務局) 今、取り組んでいる日常業務も計画に位置づけていく必要があると思っている。表現を検討する。

委員) リーディングプロジェクトといていたように、誰が見てもこれをやるべきだと分かる、わかりやすいものがよいと思う。そこを目指してもらえるとよい。

事務局) 検討する。

委員) 羅列になっているので、重点なら重点で、メリハリをつけてほしい。

事務局) 内容をつめて、最終的には魅力的な推進プログラムとしたい。

### ●推進体制について

委員) 推進体制の項目をつくり、応援団体など多様な推進体制を書き込んだほうがよいと思う。

#### 5. 今後のスケジュール

<事務局からの報告>

- ・今年度中に策定する予定。
- ・次回は推進プログラムまで文章化し、提出する予定。
- ・11月～12月にパブリックコメントを行う予定。
- ・令和3年度7月に認定を目指している。

#### 6. その他

### ●次回開催について

市) 次回は10月上旬を予定。

#### 7. 閉会のことば